

女のせりふ

伊藤雅子



女のせりふ

伊藤雅子



女のせりふ

2014年5月15日 初版発行

著 者 伊藤雅子

発 行 株式会社 福音館書店 
郵便番号 113-8686
東京都文京区本駒込6丁目6番3号
電話 販売部 (03) 3942-1226
編集部 (03) 3942-2084
<http://www.fukuinkan.co.jp/>

印 刷 図書印刷株式会社

製 本 積信堂

- ・乱丁・落丁本は小社出版部宛ご送付ください。
送料小社負担にてお取り替えいたします。
- ・NDC 914/290ページ/18×13センチ
- ・ISBN 978-4-8340-8096-4

Inspired by Voices of Japanese Women, vol.1

Text © Masako Ito 1995, 2014

Illustrations ©Ken'ichi Yamada 2008, 2009, 2014

Published by Fukuinkan Shoten Publishers, Inc., Tokyo, 2014

Printed in Japan

女のせりふ
目次

- 1 私は会社と結婚したのに 20
- 2 女には名前なんていらainですね 22
- 3 わたしが殺せないところまで成長した子供がとう
24
- 4 すぐ、女は幸せにされてしまうから 26
- 5 ご主人は、私よ 28
- 6 自分の年って、いつも気にいらainのよね 30
- 7 男の人ってタダのことほainでしよ 32
- 8 夫と力を合わせてやったことって義父のお葬式だけ 34
- 9 「家庭生活」が移動してainだけainですもの 36
- 10 「落ち度ainないように」ainて、私、冷たい人間だった 38
- 11 男ってすぐ女を指導したがるのね 40
- 12 君の妻が不幸を見せびらかせり 42
- 13 おかあainは、まっainainの 44

14 私は六十点のヒトなんだな 46

15 「批判」という言葉を持っていなかったみたい 48

16 誰とも浅くつきあうことです 50

17 ごはんのとき、いつも「テレビがあつてよかった」と思う 52

18 おかあさんって、どうしてあんなに子どもを脅迫するんだろう 54

19 いい待たせ方をする人ねえ 56

20 主人が怖いわけではないのよ 58

21 外では似合う服、内では好きな服を着る 60

22 立つなりすわるなり自分でせい 62

23 バカではハイ・ミスはつとまらぬ 64

24 どうしてあんな女に 66

25 ネクタイを上手に締める猿を飼う 68

26 家族とは何だろうか 病んでみて、はつきりする 70

27 劣等感のない人間なんて、いやらしいよ 72

28 論理的に言わなくてはいけない 74

29 加害者って、つらいね 76

30 役割でするやさしさって、つまらない 78

*

31 「本音」って、そんなにいいことなのかなあ 82

32 でも、そういう男が好きなんですよ 84

33 お金をくれるからずるい 86

34 よそのお年寄りにはやさしくできないのに 88

35 女は失業者にもなれないんですね 90

36 世間って、私たちのことだから 92

37 はるかをはるかにさくら散る 94

38 男って、世の中を知らないのね 96

39 女の身分証明書って、夫の名刺なの？ 98

40 「かわいいおばあちゃん」なんて、私はいやだ 100

41 あんな殺され方をして、何が名誉でしょう 102

42 寝たきりになるくらいなら死んだほうがまし 104

43 お医者さんっていうのは、検査をしなくては何もわからない人なのよ 106

44 女の生真面目を利用してたまるものか 108

45 「スカートをはいたおじさん」にならないで 110

46 受話器から、その人の家庭がよく見えてくる 112

47 母は子の母たるとともに国の母 114

48 わたしを束ねないで 116

49 お望みならば、私を売国奴と呼んでくださってもけっこうです 118

50 女がどうして可愛くなくちゃいけないんだい？ 120

51 歩いている間は何もしなくていいから好き 122

52 みんなの顔が見えんから 124

53 私がつているものはすべて私自身です 126

54 病氣とうまくつきあうことがわかってきたの 128

55 様も殿も付いてはいけない 130

56 怖いと思うことが悔しい 132

57 ちょうどよいほどの声でありますように 134

58 初暦知らぬ月日の美しく 136

59 長男でなくてよかったわねえ 138

60 私、何になりたかったのかしら 140

*

61 自分の感受性くらい自分で守れ 144

- 62 キズ物だったとわかったら返品されて当然ってわけね
146
- 63 ずいぶん無駄に共働きをしてきたものね
148
- 64 高学歴を恥じない人が増えてきたね
150
- 65 女ひとり生き　こゝに平和を希う
152
- 66 主婦って、「バカ」の代名詞みたいに言われるのね
154
- 67 理想的な、完全に満足な、良き妻であったことのむくいであつた
156
- 68 人間として大事なことは自分で学ぶもの
158
- 69 女言葉では対等に話せない
160
- 70 国境を知らぬ草の実こぼれ合ひ
162
- 71 同窓会に着飾って来る人って哀しい
164
- 72 雑草という名の草はないんだけど
166
- 73 「相談できる人」って、いいと思う
168
- 74 生命は、人と人との間にある
170

- 75 女は男の寢所として認識されている 172
- 76 いつも笑顔でいなくてはいけない人って、たいへんだね 174
- 77 えらそうなこと言ってるけど、家のなかはきつとり散らかっているのよ 176
- 78 あら、私、いまだって、きれいですわよ 178
- 79 やさしそうに見捨てて 180
- 80 どうすることもできないから泣くんじやないか 182
- 81 そう育てた自分が悪いと思わなくちゃ、ね 184
- 82 幸い、私は、口と心が元気ですから 186
- 83 想像力とは、やがて可能になるもののことだ 188
- 84 をばさんであるらし可笑し 190
- 85 あんな男でもオクサンにはよく見えるのかしら 192
- 86 アクセサリーがひきたつ服を持っていてよかった 194
- 87 子どもはいのち、仕事は生き甲斐 196

88 いつのまに、家庭が買うものになったんだろうね
198

89 眠っている男というものは人を感動させる
200

90 [〃]姑[〃]を好きだったらよかったんですけど
202

＊

91 健康な成人なのに被扶養者にされているのは妻だけ
206

92 赤ちゃん言葉しか使えない暮らしなんです
208

93 託児つきのイベントを渡り歩いていた
210

94 せつかくの高齢出産なのに
212

95 「おふくろの味」は家庭の外に求めるものみたいね
214

96 主婦として母としてなすべきことはしてきたと自負しております
216

97 もう、ご主人を尊敬できなくなっているみたいなのよ
218

98 父は惚れるという言葉しか知らないのです
220

- 99 職場で主婦やってくれちゃっている 222
- 100 私は長女だからお父さんは免疫がないんですよ 224
- 101 女性差別をしてください 226
- 102 そばに男がいるというのはいれしい華やきである 228
- 103 夫が失業したとき、「チャンスだ！」って思ったんです 230
- 104 浮気なら妻が怒ればいいけれど、買春だから女が怒るのよ 232
- 105 寒菊の忍耐という汚ならし 234
- 106 一人の方のひと言の励ましがどんなに勇気を与えてくれたことでしょう 236
- 107 風景が変わらないともたなくなっているのよ 238
- 108 他人のことを嬉しいと感じられる自分がちよつといいなあとと思う 240
- 109 主体的に年をとろうと思う 242
- 110 それでは弱肉弱食じゃないの 244
- 111 男は中年過ぎたら女の友達をたくさんつくらなくてはいいけません 246

- 112 今日は男を威圧しなくてはいけないから 248
- 113 その子を他の人に気づかれまいとする母の心づかいです
- 114 私は、自分が日本人でなくてよかつたと思いますよ 252
- 115 ボランティアつて安いアルバイトのことなのよ 254
- 116 もう生きていてはいけない年なんですよ 256
- 117 田舎の悪さは残して、良さを失くした田舎町なの 258
- 118 お正月は嫌い 260
- 119 ご身分は 262
- 120 あの女はまるでくそじじいだ 264

注 266

自分の言葉を持つこと 268

索 引

女のせりふ

伊藤雅子



暮らしのなかでこぼれ落ちた、
はっとするひとこと。

文学や映画のなかの、輝くようなせりふ。

これは十年間にわたってすくいあげられた、
女たちの名言集です。

